

みんなのギカイ

9月議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

予算……………	P 1～
決算……………	P 3～
委員会……………	P 4～
一般質問………	P 5～
きかせて!あなたの未来 ……………	P 11

● 9月定例会 ●

宇陀市のこんなことが 決まりました。

9月定例会 9月3日～9月28日
今回の議案は

市長提出議案… 32議案
議員提出議案… 2議案
人事…………… 8議案

今号では
この中から
8つを

Pick up

全ての議案名と結果は議会事務局にお問
い合わせ下さい。

Pick up 1

8月臨時会、コロナ対
策予算を追加しました

新型コロナウイルス対策については、議員報酬の月額10%（1425千円）を削減（令和2年7月～9月）

市は、新型コロナウイルス感染症への緊急対応として補正予算の専決処分を行いました。補正予算は本来市議会の審議議決を経て成立するものですが、事前に市長から「より緊急に予算計上が必要であるため、専決処分を行う」旨の説明を受けました。

市議会としては、市民の生命・健康を守るとともに、市内中小零細企業や事業者の暮らしを支えるため、執行機関と連携を図りながら、迅速な新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいく補正予算が可決されました。【今回は国費・県費が100%です】

主な事業

- ・新型コロナウイルス感染症対策プレミアム八つぴー商品券
- ・宇陀市版GOTOトラベルキャンペーン
- ・新生児特別定額給付金給付事業
- ・市内事業者に対する家賃補助
- ・空き店舗改修補助事業

Pick up 2

令和2年第3回定例会補
正予算が成立しました

一般会計では、新型コロナウイルス対策経費の追加を中心に、総額8億4878万6千円あまりを増額補正しました。

こんな質問が出ました

質問 庁舎内での分散勤務をどのように進めますか。

答弁 庁舎内のパソコンは有線で全てネットワークを組まれています。それを無線化する事になります。およそ380台のパソコンを、無線LANでつなぐ事によって、分散化を進めたいと考えております。本庁以外のところは費用がかなりかかるので現在は本庁内と考えています。

質問 e-Taxで税の申告を進めることでどのような効果があるのですか。

答弁 e-Taxを進める事により、ご自宅から確定申告を税務署に提出されますので市役所に来られる方が少なくなってきました。申告会場の方でも、e-Taxを用いて申告していただくと、計算誤りがなく、後でこちらの方で点検する作業が減り、業務の効率化が図れます。

コロナに、
負けない！

質問 医療ツーリズムは具体的にどのようなイメージで考えられていますか。

答弁 ヘルスツーリズム、要するに宇陀に来れば健康になる観光、観光のテーマは健康ですと打ち出していきたいと考えています。

質問 特殊詐欺等防止対策機器購入補助金とはどのような補助をいただけるのか。

答弁 録音機能等防犯対策がされた電話を65歳以上の市民が購入される場合、1万円を上限に補助をさせて頂きます。

質問 移住定住促進キャンペーン事業の内容と場所について

答弁 阪急大阪梅田駅、大阪メトロなんば駅、東京メトロ銀座駅で宇陀市をPRする動画や静止画を放映いたします。

質問 『市長とまちかどトーク』に参加される人員数と各種団体とは具体的に。

答弁 自治会、まちづくり協議会・市内の各種団体（市外の方も含む）、学生さんたちとやりたいなと考えております。このコロナ禍では10人前後ぐらいから始めたらいいのかと感じております。

開催についてはチラシ等でお知らせしたいのでよろしく願います。

質問 美榛苑事業を今後どうしていくのですか。

答弁 美榛苑を単体で見えるのではなく、周遊・滞在型観光を進める中で、どれぐらいの役割を果たすのか判断する為に調査委託し、検討します。今の建物の状況をしっかり整理した上で、立ち位置、要るのか要らないか、そういったところまで、踏み込んで検討を進めてまいりたいと思っています。慎重かつ急いで判断したいと思っています。

質問 女人高野日本遺産協議会負担金はどのような性質のものでしょうか。

答弁 この事業につきましては、宇陀市と河内長野市、九度山町、高野町の4市町で協議会をつくっております。講演会事業・懸垂幕事業等を柱につくられ、各市町がそれぞれ事業を行い、その金額を負担して進めていくという形になります。

質問 手話言語とコミュニケーション理解促進事業の取組について。

答弁 今回、密を避けると同時に、自宅での時間を利用して、家庭内の学習の機会を設け、手話の普及と理解促進を図るためのうたちゃんでの番組作成を考えています。市サイドで内容等を考えるだけでなく、出演者の方々の意見も取り入れて進めていきたいと考えております。



Pick up 3

コロナ禍による急激な地方財政悪化に対して対策を求める意見書を提出しました

新型コロナウイルス感染症によって多くの企業が減収し、自治体は大幅な減収が予想されています。そこで政府等に対して、地方交付税やその他の交付金を確保し、地方自治体が行政サービスを維持できるように配慮を求める意見書を全会一致で可決し、国会、政府等に対して提出しました。



Pick up 4

国の過疎対策事業を今後も行うよう意見書を提出しました

宇陀市を含む過疎地域は国土の半数以上を占め、都市に対して食料、水、エネルギーの供給など多大な貢献をしています。過疎地域に対しては、過疎地域対策緊急措置法によって生活環境の整備や産業振興の際に国から支援を受けてきました。この特別措置法が令和2年度末をもって期限切れを迎えるため、令和3年度以降同様の法律を制定するよう、全会一致で可決し、国会、政府に対して意見書を提出しました。

令和元年度決算を認定しました 一般会計決算184億3670万円です

令和元年度一般会計決算額は、歳入189億2023万円の前年度に比べると0.3%の増加。歳出は184億3670万円の前年度に比べると0.9%増加となりました。

歳入については繰越金や自動車取得税交付金、市税などが減少しましたが、繰入金や地方交付税、市債などが増加。

歳出については、積立金や役務費、需用費等が減少したものの繰入金や工事請負費、負担金・補助金及び交付金等が増加しました。

こんな質問が出ました

質問 病後児保育の登録・利用者数が少ないというところで、以前より広報の仕方等に問題はないのかという指摘がありました。検討はされましたか。

答弁 毎年5月に登録の案内をしながらPRもしているところです。今後は病児保育も視野に入れながら合わせて検討していく考えです。

質問 徴税手数料、市税督促手数料に約51万5千円計上されていますが、何件分に値しますか。

答弁 市民税全体で6272件です。

質問 総合体育館の喫茶室は長年赤字が続いています。費用対効果をどの様に捉えられていますか。

答弁 市民サービスという観点から継続していきたいと考えていますが、運営に工夫をしながら今後、その在り方について検討していきます。

質問 これまで市役所の総合案内業務を職員がしていましたが委託に変更されました。職員の負担は軽減されましたでしょうか。

答弁 平成22年から平成30年で職員が131名減っています。担当課で時間を調整しなければならぬので大きな負担になっていました。委託したことにより負担は減り本来の業務に専念できるので有効になったと感じています。

質問 テレワーク・サテライトオフィス実態調査の結果をどのように活用するのですか。

答弁 東京を中心とした調査では非常に興味があるという結果が出ました。オフィスがある程度整備されていることや住環境が整っていれば移住したいという内容が多くありました。まずは都心部からの移住者の需要を考慮して空家対策事業の強化を考えています。

市内の企業、市民にも同様のアンケート調査をしました。あまり興味がないという回答が多かったです。

なお、この調査はコロナ禍以前の調査なので、現状で調査するとまた違う結果になるのではないかと考えます。

歳入(単位:千円)

	市 税	地方交付税	地方譲与税	地方消費税 交付金	国庫支出金	市 債	その他	合 計
R 1 年度	2,745,383	8,243,134	186,514	462,200	1,916,620	2,020,800	3,497,991	19,072,642
H30 年度	2,654,648	8,180,042	165,273	486,752	1,868,813	1,960,800	3,551,269	18,867,597

※金額は調定額。収入未済・不納欠損額も含む。

歳出(単位:千円)

	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	教育費	その他	合 計
R 1 年度	2,716,255	5,300,917	2,002,524	1,144,857	1,173,499	1,848,002	4,250,645	18,436,699
H30 年度	2,647,779	5,099,096	2,036,105	1,064,418	1,209,844	1,550,163	4,655,951	18,263,356

Pick up 6

榛原にぎわい市場が再開
されることになりました

前指定管理者の撤退によって閉鎖されていた榛原にぎわい市場ですが、新しい指定管理者に有限会社やまた水産が指定され営業を再開することになりました。指定管理期間は、令和2年10月1日から令和5年3月31日までです。

こんな質問が出ました

質問 指定管理者のプレゼンテーション等の審査内容を教えてください。

答弁 100点満点中、過半数をとった場合に合格点になると選考を定めています。点数は100点満点中、64.2点でした。各委員の配点は公表できません。

質問 市内の農家の方々との連携は出来ているのですか。

答弁 宇陀市内の小規模等の農業者を少なくとも10人以上確保することを規定しています。ある程度の確保は進んでいると報告を受けています。

質問 施設の修理・改修についてはどのようにされますか。

答弁 通常指定管理の場合は、一定額を基準として市が負担します。この施設については、10万円未満であれば指定管理者が、それ以上であれば市が負担して修理することになります。

Pick up 7

宇陀市職員の死亡事案に
関する有識者会議が設置
されます

今年2月に起きた職員の死亡事案について、有識者会議が設置されます。また、このような事が二度と起きないように原因の究明と今後の対策を検討し、市長に答申をします。

こんな質問が出ました

質問 会長の意見が優先される場合も考えられるので、委員会の人数を3人から5人に増やしてはどうですか。

答弁 他の都道府県の条例を参考に提案したものです。内部調査も終了しているため、日程調整等も考えると3人に対応できると考えています。

質問 有識者会議は6〜7回程度、開かれるとのことですが、その回数で調査審議し、答申することは可能でしょうか。

答弁 今回の場合は事前に内部調査が終了しています。それをもとに会議の進め方等を検討しており、6回程度で答申を頂く予定としています。

質問 議事録等の閲覧はできるのですか。

答弁 議事録は要約の会議録になると思いますが、今のところ非公開と考えています。頂いた答申の報告書をもって公開とします。

Pick up 8

小中学生に1人1台タブ
レット端末を配付して授
業に活用します

GIGAスクール構想（教育のICT化を推進するため小中学校の児童生徒一人に1台の学習用端末を利用し創造性を育むICT環境を構築する目的）の為に端末の購入。今後のコロナによる休業対応として、オンライン授業にも活用します。

こんな質問が出ました

質問 事業の財源はどうなっていますか。

答弁 端末は全部で1249台、そのうち、児童生徒分の台数の3分の2については1台当たり4万5000円の補助が出ます。

質問 端末の更新時期と故障した場合についてはどうなっていますか。

答弁 端末は5年で更新となっています。故障した場合には予備の端末を準備していますので、それに対応するように考えています。

質問 学校が休業になった場合の対応についてどうなっていますか。

答弁 生徒が家に持ち帰り、インターネットの環境がない家庭にはモバイルルーターを貸出して対応します。



いどい え まさお
井戸家 理夫
議員

市長の市政運営について

質問 激戦を制して、金剛市長は10,625票を獲得され当選されました。

それだけでなく多くの市民が金剛市長に期待を寄せられている表れと考えています。

前市政の混乱に加え、新型コロナウイルスの影響で市民が不安に苛まれている現在の状況は、宇陀市始まって以来の最大の難局といえます。このような状況の中、就任された金剛市長はその期待にどのようにして応えられるおつもりなのかお考えをお聞かせください。

答弁 「宇陀をよくしたい」という思いで選挙を戦ってまいりました。市民の皆様の期待に応えるためには、宇陀をもっとよくする具体的で魅力的なまちづくりのビジョンを示す。そのビジョンを達成するために、市民の代表である市議会と緊張感を持ち建設的な議論をする。実働部隊である職員のやる気を引き出す。国や県、企業などと連携協力をする。直面している新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、スピード感、現場感覚を持って事業に取り組むと言ったことが大切です。

市長として、情熱と責任感、そして広い視野で適確な判断力が求められると肝に銘じて、市民の皆様の期待に立場を越えたオール宇陀で応えてまいりたい。

質問 次代の若者や子どもたちが故郷宇陀を誇りに思い住み続けてもらうためには、市内や市外に今まで以上にPRが必要と思いますが、どのようにして市のPRを展開していくのか、またウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据え、市として取り組んでいく項目があればお聞かせください。

答弁 コロナ禍を契機に、暮らし方や働き方が大きく変わろうとしている現在、市をPRすることで、安心・安全な宇陀市への移住・定住に向けた努力して参ります。宇陀市は、奈良県北東部の中心都市として、未来を見据えてまちづくりを進めていかなければなりません。大和高原に位置し、大阪市と比較して8月の平均気温が4℃低い冷涼な気候で自然環境豊かなまち、室生寺や宇太水分神社など国宝が身近にある地域資源が豊富な歴史文化のまち、奈良県でも類を見ない宇陀市立病院を中心とした地域に住み続けて頂くための地域包括ケアシステムによる安心なまち、これらを再認識し、PRを展開してまいりたい。今後においても移住・定住、空き家対策、働き方改革と三位一体となった事業を実施すべく準備を進めてまいります。



いたに けんじ
井谷 憲司
議員

宇陀市の今後のまちづくりについて

質問 個人の移住・定住、個人事業家を含め企業の誘致の取組みについて。

答弁 縦割りではなく、各部署がチームを組んで連携して、企業には、有利な情報を提供し、宇陀市が住みやすい、働きやすい取り組みをしています。

質問 『周遊・滞在型の上質な観光地の創出』という内容に関して、美榛苑の位置付けは大変重要と考えますが、市長のご認識について。

答弁 宇陀市の観光ビジョンをしっかりと検討して、その中で、宇陀市にとっていい方向で美榛苑のあり方を考えていきたい。様々なデータを整理したうえで検討していきたい。

質問 『市立病院を県東部の中核病院へ』とありますが、今後の進め方について。

答弁 現在の医療資源を基本として、何が不足しているのか、どういった可能性があるのかを見極めて、県内

でも総合的な医療ケアを評価されているので、検討を進め、充実した病院を築いていきたい。

質問 『高齢者も元気に学べる・運動できるプログラムを推進』という内容に関して、オンライン（インターネット）を活用した健康増進の取組みが必要になってきていると考えるが、ご見解について。

答弁 オンライン運動教室の準備もしていきたいと考えているが、事業実施の基本は、高齢者が外に出る事を情報技術が補う事を目指している。

質問 コロナ禍も見据え、今後の避難所の整備・運営等々、災害に強いまちづくりについて。

答弁 避難所では備品や密を避ける為のワンタッチテントなど準備をしている。コロナ禍の中での避難勧告になる。分散避難も考えてほしい。自助・共助・公助をきちんと取組み、危機を乗り越えていきたい。

●その他の質問

地域共生社会の実現に向けて

内容 来年4月スタート予定の『重層的支援体制整備事業』に関して、家庭の多様化した相談に対応する為の現時点での検討の状況と今後の取組みについて。



まつうら りくこ
松浦 利久子
議員

市長公約の実現へ向けて

質問 奈良県とのまちづくり包括連携協定について、前職では県のまちづくり推進局長として市町村のまちづくりを取りまとめていた市長としての様に進められる計画をお持ちですか。

答弁 まちづくりはトップの熱意で大きく進むのですが、残念ながらこの2年間は後退していたと感じています。就任後、県との協議を再開しました。一度失った信用を取り戻すのは容易なことではありませんが、県も宇陀市の可能性に期待されているところであり、この機を逃さず宇陀市から積極的に県に働きかけ、たとえ小さくてもできるところからまちづくりの成果を出せるよう取り組みます。

●市の計画はこの2年間で後退したと私も感じています。が市民の皆さんはそれぞれの立場で様々な取り組みを進められています。お店を開業された方、ゲストハウスをオープンされた方など多くの方が起業され様々なことにチャレンジされています。頑張っている市民の皆さんが更に活

性するようにまちづくりを進めていただきたいと思います。

質問 スポーツツーリズム（スポーツに関わる様々な旅行形態）についての考えをお聞かせします。

答弁 市のスポーツツーリズムを実現したのが還暦野球推進事業と大学生の軟式野球の全国大会の誘致事業です。主催することで多くの人々を団体で誘致でき、宿泊数や交流人口の増加をもたらす手法を確立できました。今後、おもてなし力の向上や、スポーツによるまちづくりを行うため、市、スポーツ団体、民間企業（宿泊事業者）により「地域スポーツコミッション」という専門的な組織作りも考えています。この取り組みは長期的な経済効果や市のプロモーションなどの目的の継続のために必要であり、奈良県内自治体にはないものを宇陀市が率先して取り組み、スポーツによる持続的な地域活性化を目指したいと考えています。

●「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」に加入し、自転車を通じて他府県市町村との連携を取り、「サイクリストが集うまちづくり」の再構築を要望しました。

●その他、「学校に通う子どもたちについて」不登校児童・生徒の居場所づくり、学童保育についてなどを質問しました。



にしおか ひろやす
西岡 宏泰
議員

宇陀市 再生プロジェクトについて

質問 第二次総合計画の見直しをかけるのか。

答弁 基本計画では施策の方向性に基づいた施策を前期、中期、後期と4年毎に見直す形となっています。また、基本構想部分はどなたが市長になられても大きく変わることがないという幅をもたせたものとなっています。

質問 第二次総合計画と市長マニフェストとの差異はどのように創設するの。

答弁 現在の基本計画に合致しないものがあるとすれば、『宇陀産和牛のブランド化』が該当します。また、総合計画策定時には想定出来なかったものは、『新型コロナウイルス感染症対策』があると考えられます。

質問 宇陀市の再生はどのように進めるのか。

答弁 地域の土地利用は提案があった地域で議論し、地域にふさわしい

まちづくりの取り組みを進めていきます。また、農工商業においても再生に向けて取り組んで参ります。

宇陀市立病院駐車場を考える

質問 費用対効果を鑑み立体駐車場の整備を計画してはどうか。

答弁 駐車場問題は継続して検討していきます。まずは、病院に近い場所での駐車スペース確保に取り組んで参ります。

意見 駐車場借地料を鑑み、将来を考えると先行投資となるが、来院患者や職員の負担も緩和されるように推測されます。

情報収集について

質問 議会への情報提供の手段は。

答弁 議会と市長、理事者が緊張感を保持しつつ、お互いに切磋琢磨しながら、より良い市政を目指す事が重要です。

今後、議案をはじめ、お知らせしたいこと、また、情報提供のタイミングなどに十分留意し、適切な情報提供に努めて参ります。

意見 『宇陀ならできる』『宇陀にしかできない』『宇陀はもっと良くなる』とオール宇陀で再生に取り組んで頂きたい。



かめい まさゆき
亀井 雅之
議員

宇陀市の学校教育と特別支援教育の課題について

質問 宇陀市学校教育の指導方針によると、「生きる力と夢を育む教育」の実現をめざし、6つの実践目標を掲げています。そのひとつに「豊かな人間性の育成」を挙げ、特別支援教育の充実に重きを置いています。具体的などのような対策を講じているのか伺います。

答弁 教育委員会では、特別支援学校や関係機関との連携を図り、専門家の配置に努めています。また、多様な教育的ニーズに対応するため、各学校に特別支援教育コーディネーターを選任し、専門的知識・技能の向上を図っています。

加えて、特別支援教育巡回指導員を配置し、各学校を月2回程度巡回。各学校からの要請に応じ、元特別支援学校長や臨床心理士らによる専門家チームを派遣し、指導・助言する体制を整えています。

芳野川をはじめとする市内各河川の点検と改修について

質問 近年、多発する豪雨や台風な

どの影響により、市内を流れる芳野川をはじめとする各河川の堆積土砂や護岸の破損箇所が見受けられます。補強と改修に向けた総点検が必要と考えますが、市の取組について伺います。

答弁 市内には、国・県が管理する一級河川が48、市が管理する準用河川が30の合計78河川が流れています。

芳野川・宇陀川・宇賀志川・佐倉川は、県により堆積土砂撤去工事を実施中で、市としては、降雨時に河川護岸等の状況パトロールを実施し、被災箇所については、すぐさま応急対策を実施しています。

また、国では、国土交通省の取組に加え、総務省も「緊急浚渫推進事業」を創設しました。これら国土強靱化のための防災・安全交付金などの財政支援を得るため、県知事とともに国に強く要望しているところです。

移動投票所について

質問 投票時の移動困難者を対象とした移動投票所と移動支援について伺います。

答弁 セキュリティの問題も含め、移動投票所の設置は、今後研究が必要であると考えています。また、移動支援については、選挙を取り巻く環境を注視し、市民の負担軽減を図るよう努めます。



たなか たけし
田中 剛志
議員

新型コロナウイルス感染症対策に係わる市内業者の支援について

質問 宇陀市の入札、購入は基本的に市内業者優先について。

答弁 「地元企業の育成」は、行政の重要な責務であると考えています。工事については、ほぼ市内調達ができっていますが、物品購入については、「これで良し」という状況であるとは言えません。「コロナ禍」でもありますので、早急に通達を发出し、また、「可能なものは市内で」というようなルールに基づき、各部署に徹底できるよう指示し、市内経済の維持発展に寄与します。

新たな時代に向けての宇陀市の教育について

質問 タブレット等のICT活用について。

答弁 ICT支援員として1名配置しているが、更に1名追加配置します。今後状況を見て検討します。低学年の活用についても、子どもの実

態を確認しながら、支援体制も検討して対応します。オンライン塾等への私的利用については、課題を検討し、他の市町村や関係機関との情報を収集し、最適化された学習環境を提供するツールとして、様々なICT活用方法を研究します。

質問 放課後学習支援教室の現状と体制について。

答弁 市内全ての小学校と2中学校で行われています。学校と地域が連携・協働して運営されるものですが、地域学校協働本部を整備する必要があり、協力いただく「人」の確保が課題になっております。学校と地域が一体となって子ども達の成長を支えるための組織づくりを進めます。

質問 ネット学習・地域学校協働推進事業・公設の学習塾の可能性について。

答弁 子どもの取り巻く環境は、急激に変化している。もちろん学校の授業が基本、加えて家庭教育、地域とのかわり等、いろいろな面で教育を進め、既存の取組を充実して進めます。その上で、提案いただいた案件について、まだ整理すべき課題もあります。教育委員会と連携しながら、可能性について検討します。



やぎ かつひこ
八木 勝光
議員

金剛市長の政治姿勢について

質問 市政運営を行う上での理念は何ですか。

答弁 市民のくらしや経済を支えるシビルエンジニア（土木技術者）としての責務を肝に銘じたいと思っています。

質問 7月12日付けの「ホテルの再誘致を」の新聞報道で、市長は「市全体の観光ビジョンの中で、やる・やらないを判断する」と答えていますが、その真意は何ですか。

答弁 休暇村のホテルは一旦白紙になりました。美榛苑の湯は良いが、建物は老朽化し、継ぎ足しで使い勝手も悪い、全体の中でその在り方を考えたいと答えたものです。

質問 住民投票では、新しいホテルと付随する大規模公園の整備には反対の民意が示され、それに基づいて休暇村との協約が解除されましたが、住民投票の結果を尊重しますか。

答弁 尊重はします。投票の結果は反対多数でしたが、その後の市長選

挙ではこの事業に反対した前市長には市民からの負託はおりなかったことも重要視しなければならぬと思います。

質問 美榛苑の今後の在り方はどのように考えていますか。

答弁 美榛苑のリニューアル費用の再確認をせず継続を決めたことは、今後の負担や赤字に不安があります。市全体の観光ビジョンの中で、その在り方を検討しますが、非常に重い判断となるので、時間と判断材料が必要です。

質問 県とは、補助金や事業の連携など良い意味でのパイプを期待する声も多いが、その逆を不安視する声もあります。

答弁 広域行政の推進の奈良モデルは、県と市町村が対等に協議をして決めているものです。市の自主性を大切にしつつ、県や国との良好な関係を築いていきます。

●意見・要望

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためには、PCR検査の拡充が必要です。宇陀市の中核病院である市立病院でも検査体制を整備すべきです。医療・介護・障害者福祉・児童福祉・教育関係者などの検査を行うべきです。



ひろざわ たかひこ
廣澤 孝英
議員

宇陀市の課題について市長が示された「宇陀市を良くしたい」市政の思いについて、私なりに考えている宇陀市の課題を挙げて質問しました。

質問 若い世代の定住に向けた、子育て支援における病児保育について。

答弁 若者の定住には、経済的な安定が必要である。市長自身の子育て経験の中から提案している。病児保育の開設には、スタッフ、場所の確保、病院の連携と協力が不可欠で課題はあるが、開設に向けて取り組みを進めていきたいと思っている。

質問 榛原駅前の整備やリノベーションについて。

答弁 立地適正化計画においても生活サービス、街中の居住、交流発信機能、県東部の玄関口、そういうまちづくりをデザインする必要がある。天理の駅前をヒントに、県と市の協力、宇陀市と市民の皆さんとのまちづくり体制を再建していきたいと考えている。

質問 市街化調整区域の線引き変更による誘致開発について。

答弁 基本は、市街化区域の中で土地利用を進めていくのが原則。調整区域については、規制はあるが、今の社会情勢の中では、メリハリのある土地利用について、取り組んでいくことを議論はしているが、規制が掛かっており難しいが、市として土地利用計画を立てることで、土地利用は可能であると考えている。

質問 行政の地元企業に対する循環経済活動による企業支援について。

答弁 行政は、地元業者の育成は責務であるとマニフェストにも挙げており基本姿勢である。これまでも、市内業者からの物品調達を調達している。コロナ禍の中で経済対策が求められており、可能な限り市内調達を徹底していくが、課題もあり整理して、市内経済の維持発展に繋いでいきたいと考えている。

質問 市民との協働のまちづくりについて。

答弁 地域に根差し特化した事業をしている、まちづくり協議会への支援は、続けていきます。地域活性化の宇陀市の力強いパートナーとして、宇陀市と協議会と一緒に地域課題を解決していきたいと思っています。



きくおか ちあき
菊岡 千秋
議員

人権を基軸とした市政運営 のありかたについて

質問 同和対策審議会答申が出されて50年以上が経過、今日でも未だに根絶を見ない部落差別の現実に対し、4年前に「部落差別解消推進法」が制定されました。人権施策を行政の基軸にすえたこれまでの成果と課題をどのように捉えていますか。

答弁 行政の責務をしっかりと自覚し、さらなる推進を図るため、人権3法の理念を盛り込んだ、「宇陀市部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消推進条例」が県下どこよりも先駆け、改正されました。また、宇陀市総合計画や人権基本計画にも、その理念を受け「誰もが尊重される共生のまちづくり」実現にむけ全庁的に取り組みを展開します。

質問 市長が人権施策のトップリーダーであり、県行政で培った見識を、市政に注入し全庁的な人権意識を市政に反映させる必要性や具体的な進め方の考え方について。

答弁 「人権の課題は行政すべてのセクションで担う」認識を持ち、人権啓発推進本部の機能をさらに強化させ取り組んでいきます。

菟田野こども園の 今後の運営について

質問 菟田野保育所の人権保育の営みが奈良県下でも高く評価されており、菟田野こども園にも引き継がれる必要があると思われしますが、考え方を示されたい。

答弁 乳幼児一人ひとりの個性や特性を認め、人権保育を推進し、様々な関係機関や、地域団体と連携し地域の子育て力の向上を目指します。

質問 市長の考える質の高い保育や、幼児教育の実現にむけた具体的な考えを示されたい。

答弁 子どもの発達に合わせた保育の提供が重要であり、発達の個人差への対応や、特別な支援を要する子どもへの個々の対応や多様化するニーズなど、日々の積み重ねが重要だと考えています。

質問 立地性の良い、菟田野保育所後施設の、今後の活用について。

答弁 耐震性や老朽化を考慮しながら、地域の皆様と新しい活用方法を検討していきます。



みやた みき
宮田 美紀
議員

これからの 子育て支援について

質問 第2期宇陀市子ども・子育て支援計画について。

答弁 第1期計画が令和元年度末をもって終了しましたので、子育て支援に関するニーズ調査を実施し、現状と課題を再度、分析・整理し5年計画で策定しました。

質問 初めての子育てに対するサポート体制はどのようになっているのか。その利用状況と対策はどのようなものか。

答弁 平成30年度より中央保健センターを「子育て世代包括支援事業」の機能をもった窓口として、妊娠期から乳幼児期の継続した支援を実施しています。その期間を通して保健師が電話・面接・訪問等による随時の相談・支援を実施しております。今後も顔が見え、安心して子育てできるような関係機関とも連携したサポート体制を充実していきます。

質問 特別支援学級と通級指導教室の事業内容について。

答弁 特別支援学級とは、支援が必要な児童生徒に対して、少人数の学級編成を行い、一人一人の児童生徒の実態に応じて具体的な目標や指導の内容を個別支援計画として設定し、きめ細やかな指導を行う教室です。通級指導教室とは、言語障害、難聴、学習障害等の児童生徒に対して、各教科の授業は通常の学級で受け、必要な時間を一人一人の児童生徒の障害に応じた特別の指導を行う教室です。

質問 通級指導教室について、保護者や児童生徒には、いつ、どのように周知を図っているのか。

答弁 保護者への周知については、毎年7月に開かれる就学相談会において様々な学びがあることを説明しています。児童生徒への周知については「通級教室ってどんなところ」という授業の中で担当教員が出向き、学級の子どもへの理解を深め、本人が抵抗なく通えるように取り組んでいます。

質問 プレイルームのある学校とない学校では学習面・精神面で差はないのか。

答弁 該当校の平均台などを活用し工夫して指導にあたっておりそのような差が出ることはないと考えています。



かつい たろう
勝井 太郎
議員

農業の振興について

質問 宇陀市の耕作放棄地の現状について、説明を求めます。

答弁 日当たりや水はけなど、条件の良くない農地が多いこと、「有害鳥獣の被害」、「高齢化・労働力不足」、「農産物価格の低迷」、「農地の受け手がいない」等の要因により、農業・農地が継承されず、「遊休農地」や「荒廃農地」の発生原因となっています。耕作放棄地率は約35%であり、県平均の24%と比較して、宇陀市は高い値となっています。

質問 宇陀市の耕作放棄地率の高さは近隣自治体と比べても最も数字がよくありません。耕作放棄地対策は何をしているのですか。

答弁 耕作放棄地になる前の段階での管理等を適切に行い、すぐにでも植え付けができる状態の遊休農地の段階で保全してもらうよう中山間地域等直接支払補助金制度や多面的機能支払交付金事業などの国の事業の積極的な活用をお願いし、耕作放棄地の発生防止に努めることで対策しております。

質問 宇陀市は立地条件がよく、2時間程度でアクセスできる距離に関西圏、中京圏があり首都圏に匹敵するマーケットがあります。この都市部に対して売り込みなどアプローチをしていますか。

答弁 少量多品目生産を行っている農家では、市内の直売所、桜井市、橿原市の直売所に出荷しているケースがほとんどです。ホウレンソウ、ミズナ、キュウリ、ダイコンは産地指定を受けており、奈良県の2〜4割のシェアがあり、一定の生産量がある農家については、主に大阪の市場や販売店に卸す仲買人が各農家を回って直接仕入れを行い、大阪の商圏に出ています。農業生産法人については、独自の販路開拓により、大阪や東京への販路を確立していますので、市が大阪などの大都市圏の商圏に対してアプローチを行ったことはありません。

意見 関西圏でも自治体間連携による委託生産や共同での販路開拓など新しい動きが始めています。県内でも曾爾村、広陵町が行政主導の振興公社を設立し、地域の方々とともに挑戦をしています。農業施策は、ともすれば、補助金を配ることに力点が置かれがちですが、自治体間連携によってリスクを分散させながら販路開拓なども検討していきましょ。



ただ よしろう
多田 与四朗
議員

4つの将来像と7つの目標（公約）について

質問 「当市のポテンシャルは高いが全体的な印象は弱く、十分活かされていない」との市長の指摘だが、その原因は何か、活かす具体的な方法は。

答弁 宇陀市と言えば県東部の中心城市、その知名度を高め大和高原宇陀ブランドとして都市部にPR展開して行く。

質問 「行政を効率化し、市民サービスを強化」とあるが、具体的にどういうことなのか。

答弁 組織、事務、財政、職員定数、公共サービス等全てを含む形で効率化していく。第4次行政改革大綱策定に向けた中で議論を進めていく。特に、職員の意識改革やスマート自治体の推進は市民サービスの向上につながると思う。

質問 「財政は自主財源の割合が低く、義務的経費や老朽化する施設の維持・更新費用の増加等で厳しさを増している」「財政の基盤をバランスよく強化し」とあるが具体的な方策はどうするのか。

答弁 平成30年度の経常収支比率は100.4%と10年ぶりに100%の大台に戻り悪化。今後は100%台が続く見通し。人件費、公債費は下げ止まるなか、財政基盤を立て直す為、単年度収支を黒字化へ、自主財源の基幹としての固定資産税を増やす為、土地利用計画に取組む。義務的経費の抑制は難しいと考えるが、財政運営の健全化に取組む為、有利な地方債、ふるさと応援寄付金など活用を努める。

質問 「公有資産の利活用を財政の健全化に役立てる」とは、どのような意味か。

答弁 平成29年に「公共施設等総合管理計画」を策定、本年度には、「個別計画」をまとめる予定。公有資産を整理し、各部の垣根を越えて当市のビジョンの中で利活用を考え活性化を図っていく。

質問 目標（公約）の実現性と優先順位について。

答弁 がんばれば、無理をすればできると考えた目標（公約）でオール宇陀で皆様に助けて頂きながら取り組んでいきたい。将来に負担を残さないようにしたい。全ての公約のベースとなる財政の安定と経済の活性化を優先に考える。

きかせて！あなたの未来

No. 19

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



私はマウンテンバイクのプロライダーとして活動しています。でも大会には出ていません。

昔はインスタやYouTubeがなかったため「プロスポーツ選手＝大会に出て勝つことを目標とする、テレビに出る」などのルールしかありませんでしたが、今は自分が輝ける場所を自分でつくれる時代です。

私も今、自転車を使ったおもしろい映像をYouTubeで発信するために、日々練習に励んでいます。

大会に出ないプロスポーツ選手を誰が想像できたでしょうか？

これは自分たちの親の世代では経験したことのない未知の時代で、そこにルールはありません。

他人の意見や常識にとらわれず、自分だけのルールをつくって楽しい人生を歩んでください。

にしくぼ ともみ

西窪 友海さん（28歳 プロマウンテンバイクライダー・榛原天満台）

次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
		12/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
			本会議 (議案提案)		本会議 (議案質疑)	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会	常任委員会	予算委員会			
20	21	22	23	24	25	26
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			本会議 (討論・採決)	
27	28	29	30	31		

10：00 開会（日程・時間等変更の場合があります）

募集します！

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

編集後記

編集委員
八木 勝光

金剛市長になって、初の本会議が開かれました。今議会では、議長を除く13名の議員のうち、12名が一般質問に立ちました。その内容は、市長の政治姿勢や市政運営の中身を問うものが多かったのが特徴的でした。新しい市長がどのようなかじ取りをしてくれるのか、多くの市民の期待や関心を裏付けたものと言えるで

しょう。市長が宇陀市政に携わる理念として掲げたのは、「市民のくらしや経済を下支えするシビルエンジニア(土木技術者)としての責務を肝に銘じたい。」です。その発言に市政にかけの想いが表れていると感じました。一見して朴訥な人柄の中にも、堅牢な信念を貫く新市長に多くの市民がその手腕に期待しています。

お問い合わせ（議会事務局）

電話 0745-82-5771

IP電話 0745-88-9082

FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<https://www.city.uda.nara.jp/>